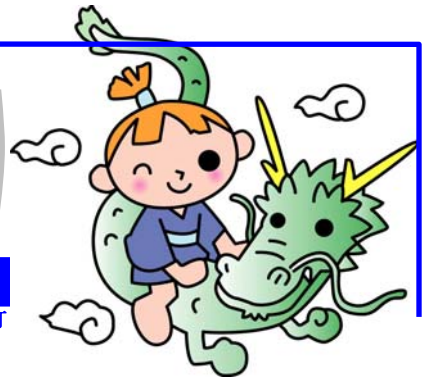


# ダムの風だより



大町ダムのキャラクター、犀龍と小太郎

“ダムの風だより”は国土交通省大町ダム管理所が発行する広報紙です。



## 国土交通省大町ダム

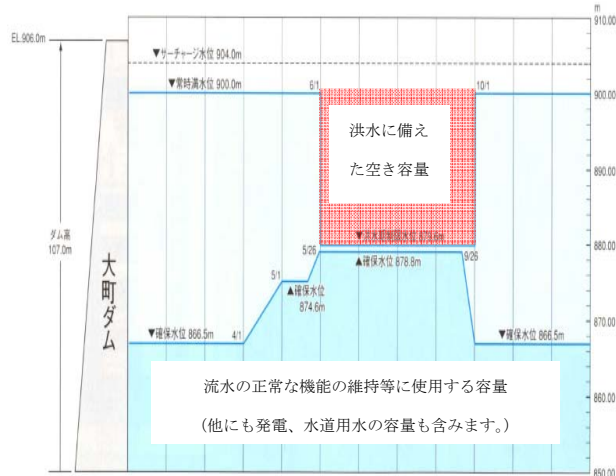
洪水期になりました。河川情報に注意しましょう。

### ～ 洪水に備えた放流 ～

今年も洪水期を迎え、6月2日には気象庁から昨年より20日間早く長野県を含む関東甲信越地方の梅雨入りが発表されました。大町ダムでは6月1日から9月30日までを洪水期として定め、大町ダムの目的の一つである「洪水の調節」を行うための準備として、洪水に備えた空き容量を確保（ダムの貯水位を下げる。）しています。この空き容量は洪水時（200m<sup>3</sup>/sec以上）に使用するポケットとして使用します。

また、この期間は農繁期でもあることから、これも大町ダムの目的の一つである「流水の正常な機能の維持」として、かんがい用水等補給のための容量確保を行っています。

大町ダムでは水位を洪水期制限水位まで下げるために、5月26日から放流を行い、空き容量を確保しました。



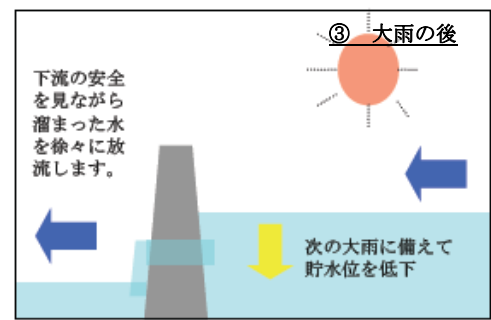
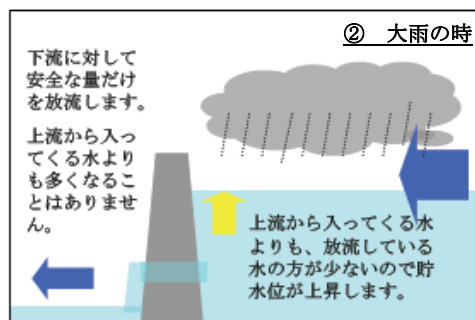
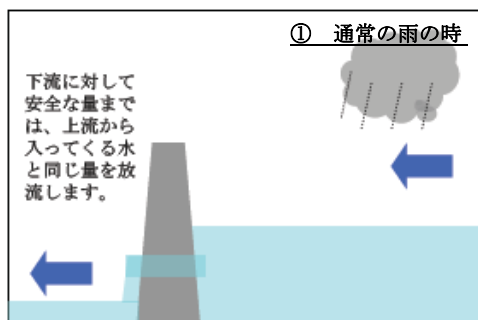
大きな出水に備えた空き容量 = 2千万m<sup>3</sup>

この状態から木崎湖と同じくらいの水を赤い部分に溜めることができるんだ！

### ～ 河川の情報にご注意を！ ～

ダムからの放流は雨が降っている時…とは限りません。降雨時には一定量以上の水を下流へ流さないようダムに水を溜め込み、雨がやんで、下流の状態を確認した後に徐々にダムから放流します。

「天気がいいからダムからの放流はないはず…」と思わずに、放流警報が鳴りましたら川から上がるよう、お願いします。



また、大町ダムからの放流はなくても、高瀬川は大町ダム下流で籠川、鹿島川、農具川といった支川と交わることから、その支川からの水により河川水位が上昇することもあります。川で遊ぶ際には、常に情報を入手して自らの身を守ることも重要です。大町ダムについての情報はホームページ、電話、または携帯電話サイトからも確認ができます。ご活用ください。

・大町ダムホームページ：<http://www.hrr.mlit.go.jp/omachi/>

- ・携帯電話サイト：国土交通省河川局：<http://i.river.go.jp/>
- ・電話応答装置（音声案内）：0120-04-4119・0261-22-4119

### ～ 放流開始までの手続き ～

ダムからの放流を行うためには様々な準備が必要です。主な3つの準備を紹介します。

- ① 関係機関（警察署、消防署等）や下流都市町村役場（大町市、松川村、池田町、安曇野市）への通知を行います。  
これは放流するという情報を提供することはもちろんのこと、万が一の事態時の連携をスムーズに行うため、放流の1時間以上前にファクシミリによりお互いに確認をとります。
- ② 高瀬川沿川に設置されている放流警報局（サイレン、スピーカー）と情報表示板により、下流域の方々へ河川の水位が増えることをお知らせします。放流警報局は高瀬川の沿川どこでも聞こえる様30箇所に配置されており、大町ダムから下流に向かい水の流れる速度にあわせて順次鳴らしていきます。また、情報表示板は大小6箇所に配置されており、必要な防災情報を表示します。
- ③ 警報車による巡視を行います。大町ダムから下流に向かって巡視を行い、川の状態確認、護岸や施設の状態確認、そして釣りやレジャーなどで河原へ下りている人を見つけた場合には情報を提供するとともに注意を促します。  
こういった手続きは放流の開始時はもちろん、計画規模を超える放流を行う前には再度行います。



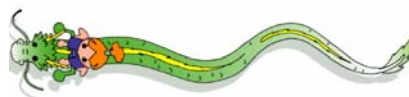
【放流警報】：放流開始前にサイレンの疑似音（ホーンホーン…という音）を鳴らし、赤色回転灯を点灯させます。



【情報表示板】：放流中は「大町ダム放流中」と表示されます。



【巡視の様子】：無線機により管理所と連絡をとりながら巡視を行います。



### ～ 演習を行いました ～

洪水期を迎えるにあたり、大町ダムでは5月13日に洪水対応演習を行いました。これはダム操作を適切に行うために大町ダムだけではなく、日本中のダム（国管理、県管理、水資源開発機構管理）が同日に行います。演習の中では「釣り人が増水により中洲に取り残されている。」といったシナリオにはないシミュレーションもあり、職員は戸惑いながらも適切に対処していました。また、演習終了後には反省点を出し合い、本番での確実なダム操作にいかせるよう検討をしました。

また、不意の停電や機器の故障といった万が一の事態に備えての操作訓練を5月1日に実施しました。職員の誰もが故障時には迅速に対応できることを目的としたもので、今年の春に転勤してきたばかりの職員を中心に、実際にボタンを押してゲートを動かすといった訓練を行いました。

もちろん、こういった機器の故障が発生しないように定期的に点検整備を行っています。



【操作訓練】：自家用の予備発電機への切替方法を講習中。



【洪水対応演習】：現在の状況を報告、指示を仰ぐ。

ふるさとの大切な水資源を活かし、洪水災害から地域の人々の生命や財産を守るのが、大町ダムの使命です。ダムに関するご意見やご要望もお待ちしております。

国土交通省北陸地方整備局大町ダム管理所

〒398-0001 長野県大町市平 2112-71 TEL. 0261-22-4511(代) FAX. 0261-22-4512

<http://www.hrr.mlit.go.jp/omachi>